

会社概要

商号 林兼産業株式会社
本店所在地 〒750-8608
山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266
主要製品 食肉加工品(キリシマハム)・肉類(霧島黒豚)
魚肉ハム・ソーセージ
機能性食品(エラスチン・ソフミート)
養魚用飼料

役員一覧

2025年10月1日現在

取締役社長 (代表取締役)	中部 哲二
専務取締役	事業統括本部長 兼飼料事業部長 三代 健造
取締役	事業統括本部 食品事業部長 戸倉 信一
取締役	経営管理本部長 中嶋 一貴
取締役	事業統括本部 食品事業部副事業部長 安部 克彦
取締役	経営管理本部副部長 鈴田 修士
取締役 (社外・独立)	田中 姿子
取締役 監査等委員 (社外・独立)	岩村 修二
取締役 監査等委員 (社外・独立)	山尾 哲之
取締役 監査等委員 (社外)	三田村 知尋
取締役 監査等委員 (社外・常勤)	伊勢崎 俊博

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
連絡先 電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法 電子公告により行う



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。

Today's Special

当社オンラインショップのおすすめ商品

霧島黒豚ロース& ばらしゃぶしゃぶ用セット



ギフトで大人気のしゃぶしゃぶ! 通年購入いただけるようになりました!

霧島黒豚の上質な脂の旨みを堪能するなら、しゃぶしゃぶがおすすめ!ロース肉とばら肉の食感の違いも楽しめるセットです。

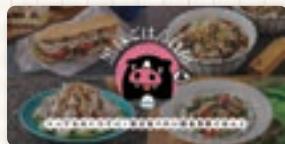


しゃぶしゃぶ商品ページ

ハヤシカネオンラインにレシピページをオープン!

霧島黒豚を使用したレシピの他、ローストポークのソースや生ハムを使ったアレンジメニューなども掲載しています。

ぜひ一度ご覧いただき、作った感想などもお寄せください!



黒豚ごはん日和



当社ホームページでIR情報等がご覧いただけます。

<https://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

With you

第87期

中間期

株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第87期中間株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当中間期の当社グループの売上高は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより223億69百万円(前年同期比9.4%減少)となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善、ならびに効率的な養魚用飼料の原料調達および生産性向上による利益率の改善などにより、営業利益は7億87百万円(前年同期比298.2%増加)、経常利益は9億69百万円(前年同期比164.2%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は7億35百万円(前年同期比204.8%増加)となりました。

このような状況のなか、当社グループでは昨年4月にHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」(2025年3月期～2026年3月期)を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいりました。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

取締役社長
中部 哲二



※「中期経営計画Challenge2026」の詳細につきましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

セグメント概況

[食品事業]



機能性素材は、原材料価格高騰に伴う価格改定により、増収となりました。

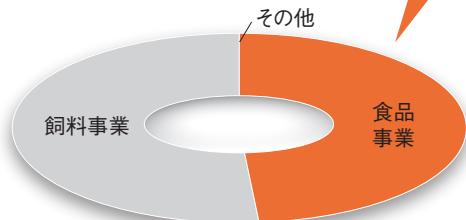
加工食品は、収益性を重視した取引に努め、販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類は、牛肉の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

これらにより、売上高は108億80百万円(前年同期比1.3%減少)となりました。

セグメント別売上高

108億80百万円
(前年同期比1.3%減少)



[飼料事業]



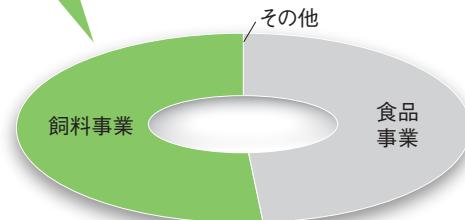
配合飼料は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

水産物は、取り扱い量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は114億86百万円(前年同期比15.8%減少)となりました。

セグメント別売上高

114億86百万円
(前年同期比15.8%減少)



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2025年9月30日)
資産の部	
流動資産	17,376
固定資産	12,317
有形固定資産	6,710
無形固定資産	528
投資その他の資産	5,078
資産合計	29,694
負債の部	
流動負債	12,518
固定負債	4,910
負債合計	17,429
純資産の部	
株主資本	10,745
資本金	3,415
資本剰余金	3
利益剰余金	7,777
自己株式	△ 449
その他の包括利益累計額	1,518
その他有価証券評価差額金	1,515
繰延ヘッジ損益	0
退職給付に係る調整累計額	2
純資産合計	12,264
負債純資産合計	29,694

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
売上高	22,369
売上原価	19,277
売上総利益	3,092
販売費及び一般管理費	2,304
営業利益	787
営業外収益	241
営業外費用	59
経常利益	969
特別利益	87
特別損失	2
税金等調整前中間純利益	1,055
法人税等合計	319
親会社株主に帰属する中間純利益	735

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 170
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,308
現金及び現金同等物の期首残高	3,146
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,838

○連結売上高

(百万円)



○連結経常利益

(百万円)



○親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(百万円)

